

1. 単元名 「春日大社の凄さってなに？」

2. 単元の目標

- ・春日大社に関する自然や行事などの様々な文化、地域の人々の関わりや課題点について調査活動等を通じて理解し、それについてまとめて発表することができる。(知識・技能)
- ・春日大社に関する資料や新聞記事などを基に課題点を見出すだけでなく、様々なツールを使って情報を分析し論理的にまとめることができる。また、その課題に対する解決策について自分なりの意見をもつことができる。(思考・判断・表現)
- ・春日大社に関する問題意識について自らも関係しているという意識をもち、意欲的に活動に参加して、その課題への理解と解決策を伝える制作物を完成させる。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、春日大社に関わるシカや春日山原始林等の自然、春日若宮おん祭りなどの伝統的行事、さらに春日講やシカ愛護団体などと言った春日大社との地域の関わりなどを教材として取り上げていく。

春日大社は、神山である御蓋山ミカサヤマ（春日山）の麓に、奈良時代の神護景雲2年（768）、称徳天皇の勅命により武甕槌命タケミカヅチノミコト様、経津主命フツヌシノミコト様、天児屋根命アメノコヤネノミコト様、比売神ヒメガミ様の御本殿が造営され、現在では、国家・国民の平和と繁栄を祈る祭が年間2200回以上斎行されている場所である。この春日大社の凄さとして特に挙げられる点は三点ある。第一に歴史の深さ、第二に自然との調和、第三に地域の人々との関係の深さである。では、それぞれについて述べていきたい。

まず一つ目の歴史の深さについてだ。春日大社で行われている祭事の中で、1200年以上続く3月13日の「春日祭」は、現在も宮中より天皇の御代理である勅使が参向され、国家・国民の安泰を祈る御祭文を奏上されている。また、上旬・中旬・下旬の語源に関わる宮中の「旬祭」、上巳・端午・七夕などの「節供祭」も平安時代に移されているなど、現代とのつながりも深い。このことから、伝統を長い間繋いでいったこととその繋いでいくという信念というものは後世に向けて発信すべき「凄さ」であると言える。

次に、二つ目の自然との調和についてだ。春日大社の神山である春日山、御蓋山は春日大神様の御神域を守るため平安時代に狩猟伐木禁止の太政官符が朝廷より出され、現在まで原生林として保たれている。県庁所在地に原生林が残るのは春日の神域だけで、神様の下で原生林の自然と「神鹿」を始めとする動物と人間が共生する世界が残されている。そのため春日大社には現代の近代的な暮らしではあまり感じる事の出来ない「自然との調和」を体現している。そして、この「自然との調和」の体現は私たちの持続的な社会の形成のヒントとなる部分であり、「凄さ」であるだろう。

最後に、三つ目の地域の人々との関係の深さについてだ。その例として挙げられるのが春日講である。奈良市の北京終周辺には江戸時代から続く春日講という信仰の集団が存在している。この春

日講は地域的な集団であったため葬式などの行事以外での助け合いが頻繁に行われていた。この地域でのつながりや助け合いというものは近年希薄化してきていると言われている。そのため、このつながりの持つ魅力とそのもたらす力というものは我々が学ぶべき部分であると感じる。

この三つの「凄さ」を持っている春日大社であるからこそ人々が信仰し続けただけでなく、多くの観光客が訪れることにつながったと言える。しかし、この凄さの陰に隠された課題も存在する。例えば、ごみのポイ捨てなどによるシカ健康被害や春日山原始林や奈良公園等での植生の変化、さらに春日講の高齢化による担い手の不足と地域行事の運営の危機等が挙げられる。こういった事態に対しての解決を行っていかねば、春日大社のもつ「凄さ」というものが失われて行ってしまふ可能が出てきている。この課題に対して、中学生の目線からの解決策を出して実行していくことを今回のテーマとしてあげていきたい。

以上のことから、春日大社は多様な面から魅力ある場所であるため、生徒たちには自分たちに身近である春日大社について再度見つめなおし、魅力を再発見してもらうだけでなく、グループでの活動を通じて地域的な問題について解決していくことを目指してもらおう。

(2) 生徒観

【省略】

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず春日大社の理解を深めるためにグループに分かれてクロスワードを解かせていく。このことを通じて、春日大社についての基礎的理解を深めるだけでなく、子ども達同士でのコミュニケーション力や協働性を伸ばすことを目的としていく。また、春日講についてもクイズや春日講を行っている方からインタビューを行い、春日大社についての理解と春日大社についての魅力について探っていく。加えて、KJ法を用いて子ども達に春日大社の凄さについて多角的に理解していくこととするだけでなく、春日大社の職員へのインタビューや実際に春日大社を散策していく中で新たな魅力の発見や調べるテーマの課題設定への材料集めをさせていく。

次に、テーマごとに各自調べる内容とその方法についてグループごとに一度出していき、調べ学習を行っていく。これにより、生徒の探求への学びの方法について身につけるだけでなく、学習に関わる計画性を養うことを目的としていく。なお、調べ学習の際には学習支援として方法の提示などを行っていくこととする。

そして、調べ学習の内容を通じてパワーポイントを活用した発表を行っていく。これにより、互いの調べた内容を知ることで多面的・多角的に春日大社についての理解を深めるだけでなく、発表やプレゼンについての方法、コミュニケーション力の育成を目指していくこととする。

これらの活動を通じて春日大社の凄さを後世に残すためには隠されていた課題への解決が求められる。その解決方法についてグループでの話し合いを通じて具体策としてチラシや動画などを通じて発信することで社会の参画者としての意識というものを持たせていくようにする。

(3) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- 多様性：春日大社の魅力というものは多様な面からあることを知る。
- 責任性：グループ活動での自分での役割に責任をもつ。

○相互性：課題解決のために様々な人との連携やその方法について学ぶことができる。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

○クリティカル・シンキング

身近にある春日大社の魅力と課題点について再度見直し、その課題点を解決する方法を考える。

○コミュニケーション力

グループでの活動を通じて、行政や市民、そして自らができる課題解決方法について自分の考えを伝えることができる。

○協働的問題解決能力

発表や支援方法に関わる成果物の作成やグループでの活動を通じて他者と協力して最後まで取り組むことができる。

・本学習で変容を促すESDの価値観

○自然環境や生態系の保全を重要視する価値観

春日山原始林や奈良公園の鹿との共生や植生などの自然に関する課題点について学び、動物保護や環境保全への理解とそのための各自の行動について見直す。

○人権・文化を尊重する価値観

春日大社の行事や地域的なかわりについて理解し、なぜずっと続いてきたのかについて自ら考えていく。

○世代間の公正を重要視する価値観

春日大社に関する自然や春日大社の行事や文化を後世まで伝え残すことに気づく。

・達成が期待されるSDGs

○目標 11（持続可能な都市）

包括的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

○目標 15（陸上資源）

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①春日大社の凄さについて多様な視点から探求し、その分野での課題点について理解している。 ②調査活動や情報収集について適切な方法で取り組んでいる。	①収集した情報を分析し、文章や様々なツールを使って論理的に表現しようとしている。 ②春日大社にかかわる問題についての解決策・支援策について実用的な意見を持つようとしている。	①課題に向けて主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら意欲的に活動しようとしている。 ②発表や調べ学習において各人の役割について責任を果たそうとしている。

5. 単元の指導計画（全 20 時間）

時	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	○春日大社にまつわるクロスワードクイズを行い、春日大社に対する理解を深める ・春日大社についての印象を聞く ・春日講という存在を知る	・身近にある春日大社についてどんなことを知っているのか、印象について子ども達に聞いてみる。 ・春日大社に関するクロスワードを提示し、班ごとに20分程度使って問題を解いていき、答え合わせをしていく。 ・最後に春日講についてのクイズを行い、インタビューに向けてどんなことを聞きたいのかアンケートする。	△ウ① ・教材資料 ①
2	○春日講について理解する ・ゲストティーチャーを招き春日講についての講話を聞く	・子どもたちに質問用紙を渡しておき、インタビュー形式で春日講を実際に行っている方に来てもらい春日講について説明してもらう。 ・最後に春日大社の凄さや課題点に掴ませるために、インタビューの内容を通じてその凄さと問題についてワークシートに書いてもらう。	△イ①
3	○春日大社の凄さってどこにあるのかということを考えてみる。 ・春日大社の凄さとは何かについて掴む ・それを知っている人物について考えてみる	・ワークシートに書いた内容だけでなく、自分の意見も付箋に書き出してもらい、それをグループ化する。 ・意見が出やすいように観光客数のデータなどを資料として提示する。 ・春日大社の凄さを知っている人は誰であるのか質問して調べる手段を考えさせる。	△ア① △ア② △ウ①
4	○春日大社の宮司さんにインタビューする内容を考える	・春日大社の宮司さんに聞いてみたいことを一人3～4つ程度考えてもらい、グループでまとめていく。 ・グループでまとめたことを全体で共有しどの順番で質問するのか考える。	△ウ①
5 ・ 6	○春日大社の散策と宮司さんにインタビューする。	・まとめてきた質問用紙に沿って子どもたちが春日大社の宮司さんにインタビューをする。	△ア② △ウ①

7	<p>○自分で調べるテーマを設定し、テーマごとにグループに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日大社の凄さとは何かについて職員の話をもとめていく。 ・自分が調べたい内容について決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー内容を基に春日大社の凄さについて再度グループで出していく。 ・各自調べたいことについて考える。想定されるテーマとしては鹿との共生、春日講、地域での自然保全、春日大社の行事等が挙げられる。 	△ア①s
8	<p>○調べるテーマごとにグループを分けて、調べる内容や方法について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ若しくは似ているテーマごとに事前にグループ分けをしていく。 ・グループごとに調べる内容とその方法について付箋を使って書いていきグループ分けしていく。 	△ア②
9 ～ 11	<p>○グループごとでの調べ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書やインターネットだけでなく場合によってはシカ愛護団体等の関係者についてのインタビューも行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春日大社の凄さの陰に隠されている問題について発見し、その課題策についても考えさせるように支援する。 ・関連する資料については図書館等でコーナを作ってもらなど子どもたちが調べやすいようにする。 ・調べる内容によっては関係者のインタビューも想定される。 	△ア① △ア②
12 ・ 13	<p>○調べ学習の発表の準備を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の形式としてパワーポイントを活用してもらうことや発表で気を付けることなどについて伝えていく。 	△イ①
14 ・ 15	<p>○調べ学習の発表を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野での調べ学習の内容について知ることでも面的・多角的に春日大社について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに調べた内容についてパワーポイントを使って約 10 分～15 分程度の発表を行ってもらう。 	△イ① △ウ②
16	<p>○後世に渡って春日大社の凄さを伝えるだけでなく、隠されている課題を解決していくための支援はどんなものがあるのかグループで考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の内容をプリントにまとめ子ども達に配布する ・配布資料を元に再度春日大社の凄さと課題点を出してもらい、それを手掛かりにテーマごとのグループでどういった支援ができるのか話し合いを行い最終的に画用紙にまとめる 	△ア① △ウ②
17	<p>○自らができる支援内容について具体案を作ってみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体案の内容としては学校のツイッターでの広報や動画、パンフレットやチラシ等生徒ができることに 	△イ②

		限定し制作物の準備を行う。	
18 ・ 19	○具体案をもとに制作物をつくる	・グループごとに具体案を基に制作物を作成していく。 ・チラシの作り方など作成に関わる資料などの参考資料を置いておく。	△ウ① △ウ②
20	○グループごとでの作成物を見る 学習活動の振り返りを行う	・グループごとで作った支援 ・学習で学んだことや気づいたことについてワークシートにまとめてもらい、グループで発表しあう。	△ア① △ウ②

【教材資料①について】

授業で使用するクロスワードクイズについては単元構想案7ページ・8ページ目に記載している。

クロスワードの解答については子どもたちとともに答え合わせしながらすべての答えをパワーポイントで提示していく。なお、解答は以下の通りである。

《たての列の問題》

①たけかづちのみこと	②おんまつり	③みかさやま	④とうろう
⑤こうふくじ	⑥おみき	⑦しんろく	⑧あいごかい
⑨しかせんべい	⑩あべのなかまる		

《横の列の問題》

A まんよう	B かすがさい	C はくたく	D のっぺじる
E しゅんさい	F うねめ	G まんだら	H しかのつのきり
I かんあみ	J ふじ	K げんしりん	

【主な参考文献】

- ・井浦新著『春日大社千古の杜』KADOKAWA 2017年1月発行
- ・花山院弘匡著『春日大社のすべて：宮司が語る御由緒三十話』中央公論新社 2016年12月発行
- ・幡鎌一弘、安田次郎著『祭礼で読み解く歴史と社会：春日若宮おん祭りの900年』山川出版 2016年11月
- ・文化庁監修/文化庁・奈良国立文化財研究所・奈良市執筆『世界遺産古都奈良の文化財：東大寺・興福寺・春日大社・春日山原始林・元興寺・薬師寺・唐招提寺・平城宮跡』奈良市 1999年1月
- ・公益財団法人元興寺文化財研究所編『奈良町の南玄関 歴史と文化の扉をひらく』京阪奈情報教育出版 2021年7月1日発行
- ・春日大社 HP <https://www.kasugataisha.or.jp/> 最終閲覧日 2022年1月17日
- ・Instant Online Crossword Puzzle Maker 最終閲覧 2022年1月29日
<https://www.puzzle-maker.com/CW/>

春日大社にまつわるクロスワードを解いてみよう！

みんなもよく知っている春日大社についてクロスワードを解いていこう！
制限時間は15分、班で協力してやってみよう！

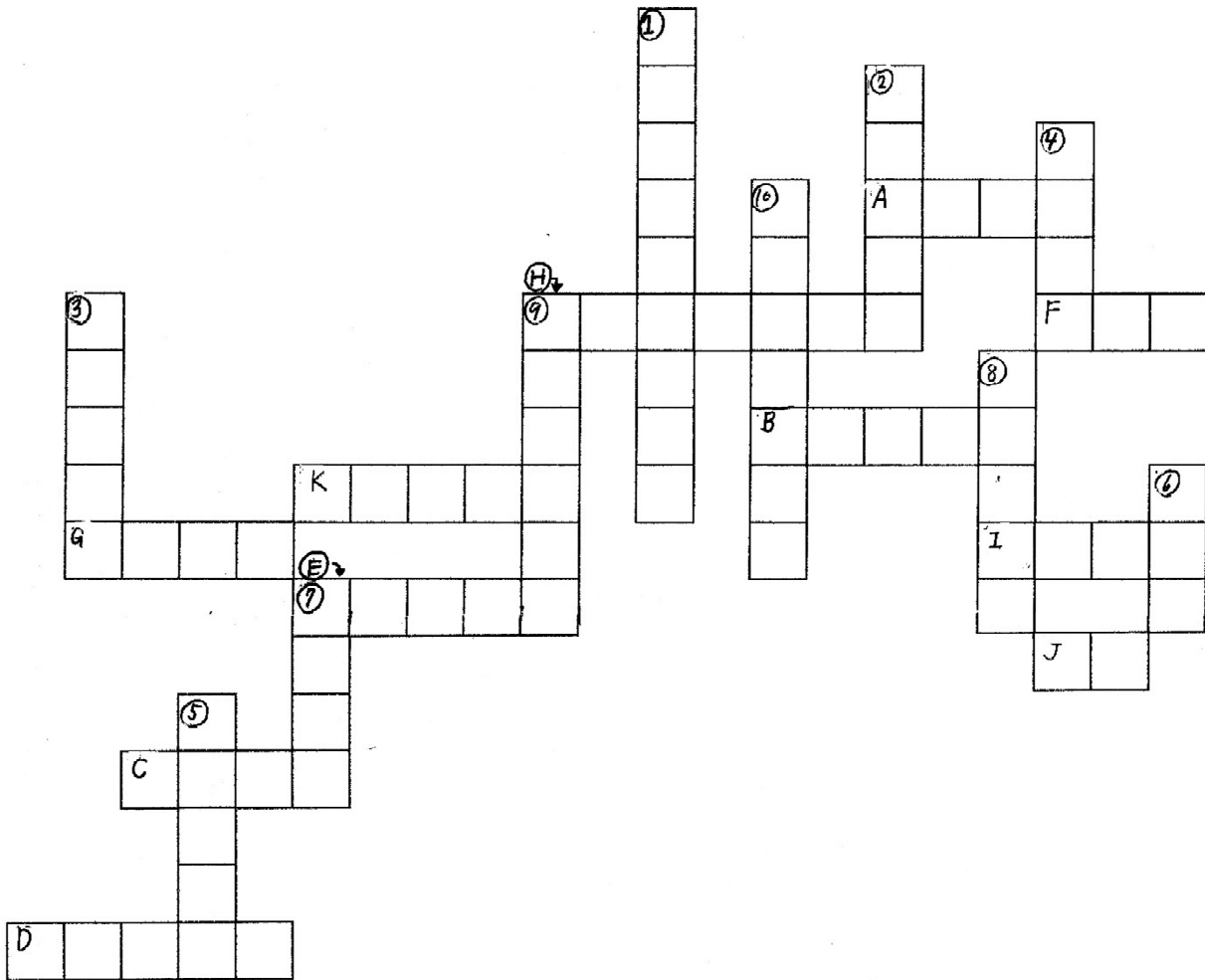
《たて列の問い》

- ①春日大社の本殿の第一殿の神様はだれ？:○○○○○○○○○○
- ②毎年12月17日に春日大社で行われているお祭りは？;春日○○○○○
- ③春日大社の神山は何？:○○○○○
- ④春日大社の参道に3000基ほど置かれているものはなに？:○○○○○
- ⑤春日大社とも関係があり、五重塔で有名な寺は何？:○○○○○
- ⑥春日大社で神様に対して奉げるお酒のことを何という？:○○○
- ⑦春日大社で大事にされている鹿はなんて呼ばれてる？:○○○○○
- ⑧春日大社の境内にあり、鹿の保護活動を行っている影の主役は？:奈良の鹿○○○○○
- ⑨春日大社の境内や奈良公園において200円で売っているものは？:○○○○○○○
- ⑩春日大社に歌碑が置かれており、「天の原 ふりさけ見れば 春日なる 御蓋の山にいでし 月かも」と詠んだ人物はだれ？:○○○○○○○○

*ヨコ列の問い

- A.春日大社の境内にある植物園の名前は？:○○○○植物園
- B.毎年3月13日に行われ、加茂祭(葵祭)・石清水祭と並ぶ三勅祭は？:○○○○○
- C.Bの祭りの際に都への帰路の途中でふるまわれていたうどんは？:春日○○○○うどん
- D.②の祭りに大宿所で古くから奈良町でふるまわれている汁物はなに？:○○○○○
- E.毎月一日、十一日、二十一日に行われ、平安時代に宮中から移された祭りは？:○○○○○
- F.猿沢池の近くにあり、春日大社の末社である神社は？:○○○神社
- G.日本最初の神道曼荼羅は何？:春日○○○○○
- H.毎年秋におこなわれており、南部の統治者である溝口奈良奉行が始めた行事は？
:○○○○○○○
- I.室町時代に能を大成させ、春日大社とも縁がある人物は？:○○○○・世阿弥
- J.春日大社境内にあり、五月ごろに紫色の花を咲かせる植物で樹齢800年の銘木(めいぼく)を何という？:砂ずりの○○
- K.春日大社の神山の一つであり、世界遺産になっている場所は？:春日山○○○○○

総合的な学習の時間①(解答用紙)



~Memo~

A large rounded rectangular box for writing a memo.

1年 組 番 名前: _____